

承認番号	2020-054
研究課題名	当院における極低出生体重児・SGA児の長期神経学的発達についての検討
研究の意義・目的	新生児・周産期医療の進歩に伴い、出生体重1500g未満の極低出生体重児の生存率は改善したが、1000g未満の超低出生体重児や不当軽量児 (Small for gestational-age : SGA) は、神経学的障害を来す児は減少していない。中でもSGA児では発育・発達両面において長期的にもキャッチアップする割合が低いことが指摘されています。ここでキャッチアップとは、発達面では乳幼児発達検査で発達指数が正常域に達すること、発育面では厚生労働省が作成した小児発育曲線において-2SD以内に改善することを指します。今回、我々は当院で出生した極低出生体重児をAGA群、SGA群に分け神経学的発達予後について検討を行い、発達遅延に寄与する周産期因子の抽出を試みました。
研究を行う期間	倫理委員会承認後から2027年12月
研究対象者の範囲	2010年1月から2024年12月までに当院NICUに入院した在胎37週未満、出生体重1500g未満の新生児で、修正1歳6ヶ月時に乳幼児発達検査を施行できたお子さまが対象となります。
お願いする内容	<p>□大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>診療記録の内容について情報収集し、統計学的方法を用いて検討を行います。 (使用する診療記録の内容：妊娠中の経過、出産母体年齢、在胎週数、出生体重・身長・頭囲、性別、アプガー値、合併症、治療内容、NICU退院時・修正40週・修正1.5歳時の発育、修正1.5歳時の発達)</p>
頂いた試料・情報の提供方法	今回の研究には当てはまりません。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学医学部附属病院新生児科 講師 大西聡
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学医学部附属病院新生児科 講師 大西聡
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/research.html
研究の成果を公表する方法	研究結果については、学会発表や論文にて成果を公表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 大阪市立大学医学部附属病院新生児科 講師 大西聡 TEL:0666453816